

10. 災害や防犯対策について

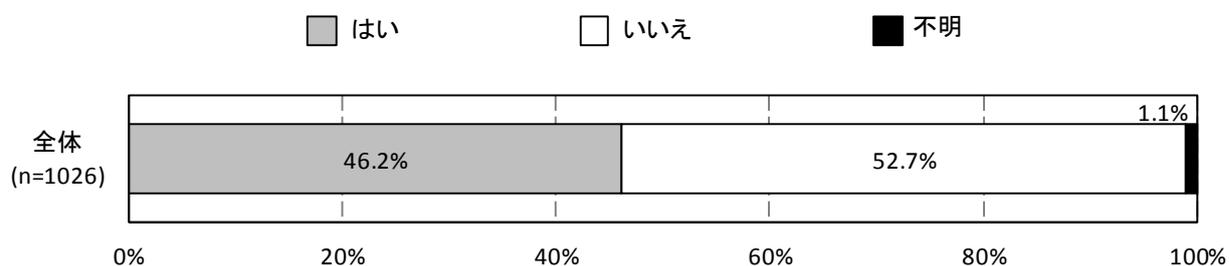
問32 災害への備え

問32 あなたは現在、災害に対し、備えを行っていますか？

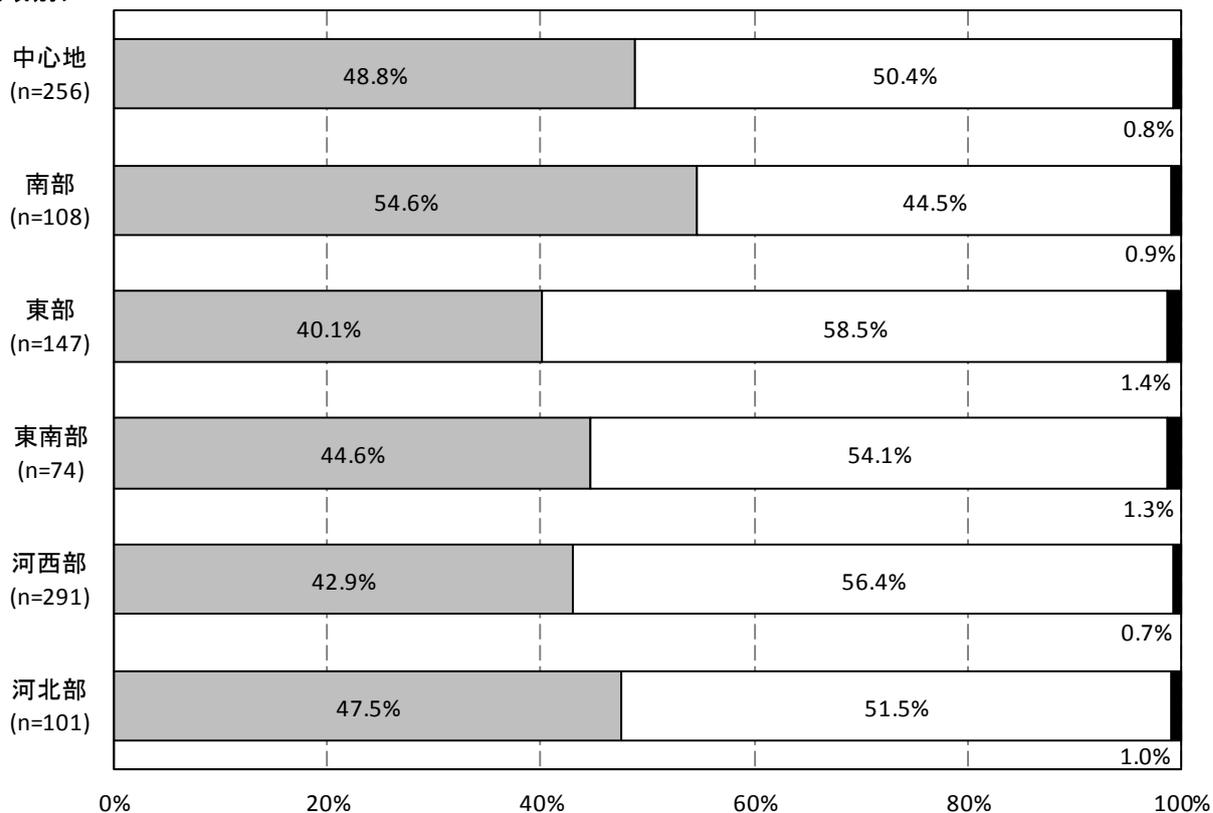
1. はい

2. いいえ

災害に対する備えの実施は、「いいえ」が52.7%となっており、「はい」(46.2%)を上回っている。地域別にみると、実施率は南部(54.6%)が最も高く、他の地域は半数を下回っている。年代別にみると、実施率は80歳以上(55.2%)が最も高く、20~29歳は実施率が39.5%と低くなっている。

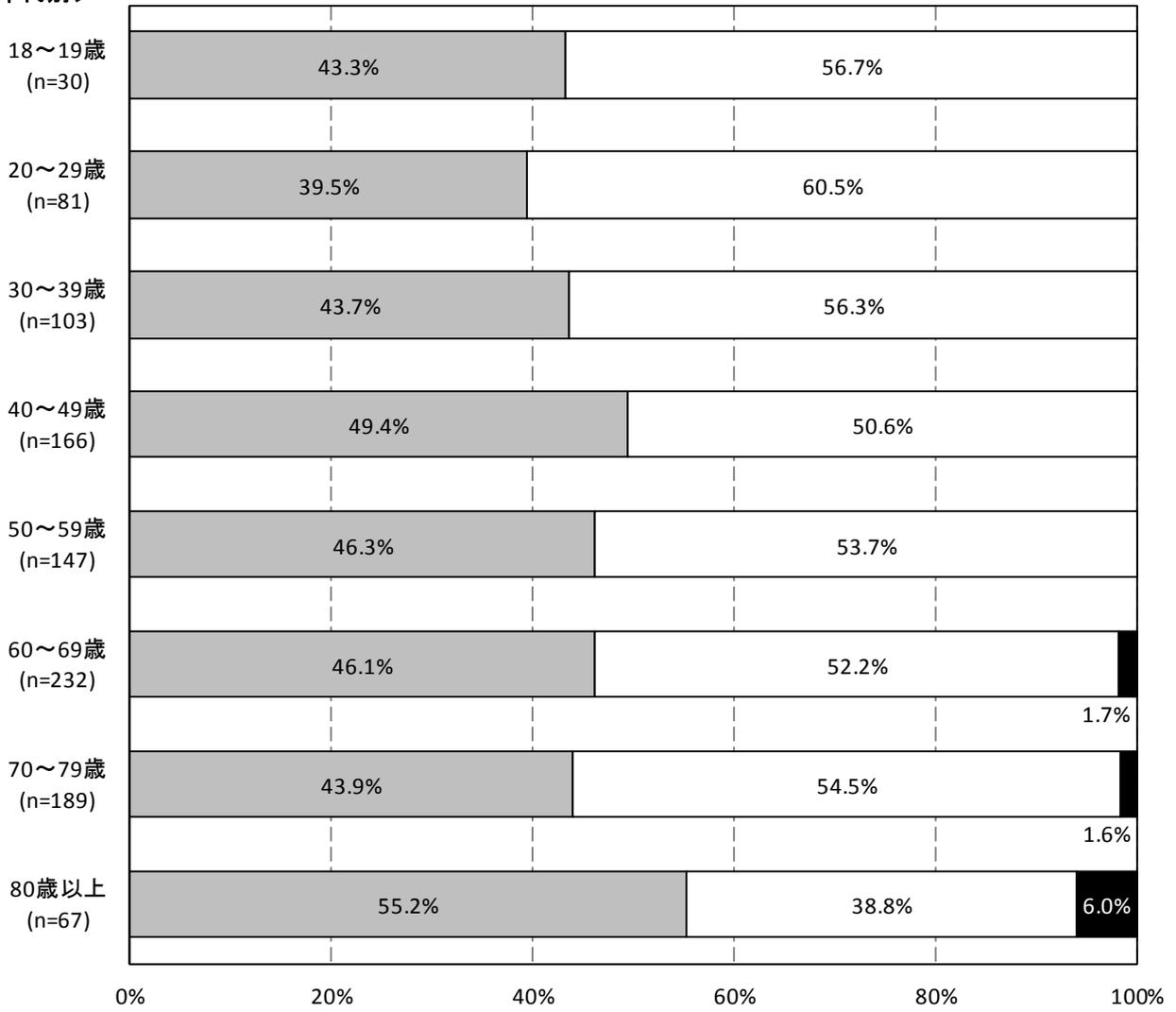


<地域別>



■ はい □ いいえ ■ 不明

<年代別>



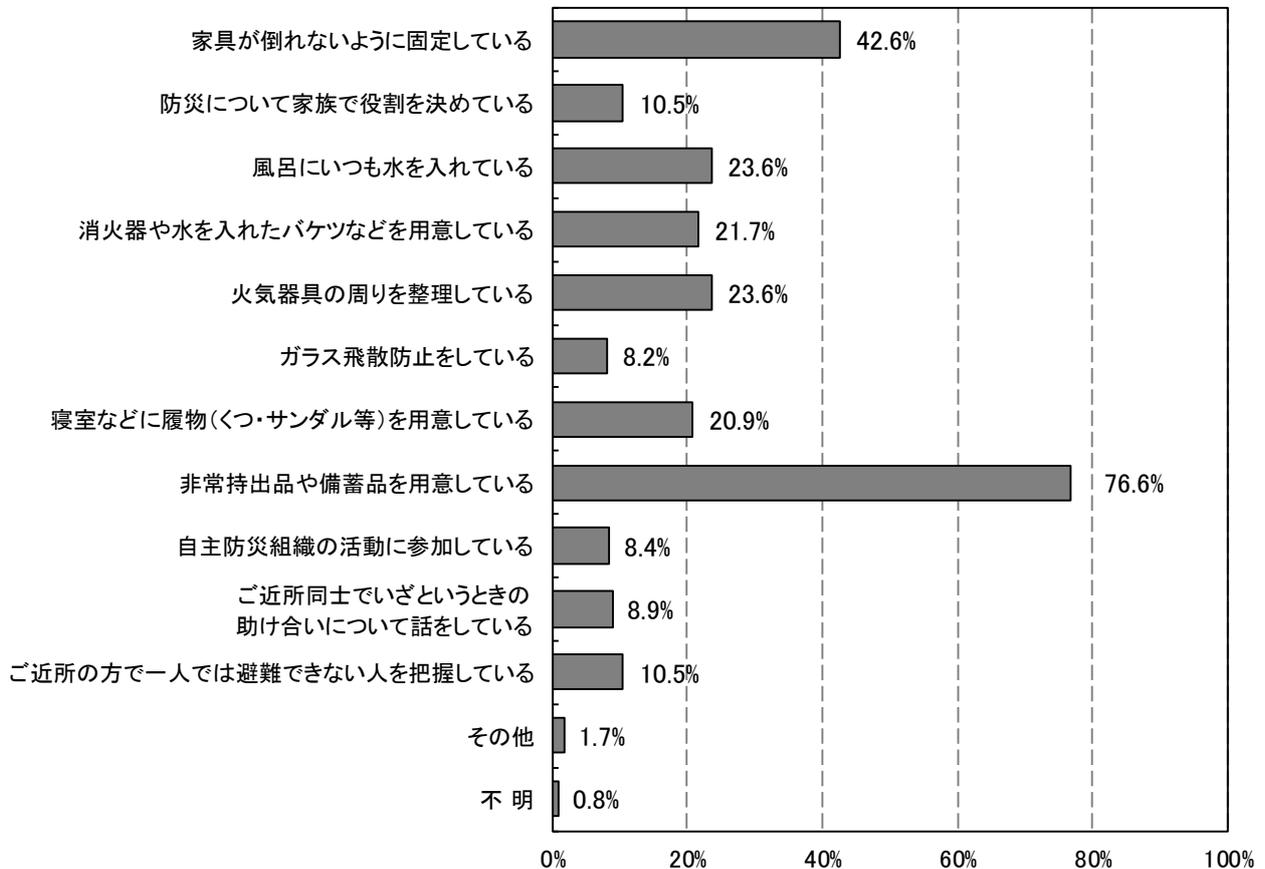
問 32-1 災害に備えていること

問 32-1 問 32 で「1. はい」と回答された方のみお答えください。災害の発生に備えてどのようなことをしていますか？あてはまるものをすべてお選びください。

- | | |
|---------------------------------|----------------------------------|
| 1. 家具が倒れないように固定している | 8. 非常持出品や備蓄品を用意している |
| 2. 防災について家族で役割を決めている | 9. 自主防災組織の活動に参加している |
| 3. 風呂にいつも水を入れている | 10. ご近所同士でいざというときの助け合いについて話をしている |
| 4. 消火器や水を入れたバケツなどを
用意している | 11. ご近所の方で一人では避難できない人を把握している |
| 5. 火気器具の周りを整理している | 12. その他 () |
| 6. ガラス飛散防止をしている | |
| 7. 寝室などに履物(くつ・サンダル等)を
用意している | |

問 32 で「1. はい」と回答した 474 人について、災害に備えていることは、「非常持出品や備蓄品を用意している」が 76.6%と最も多く、次いで「家具が倒れないように固定している」(42.6%)、「風呂にいつも水を入れている」(23.6%)、「火気器具の周りを整理している」(23.6%)、「消火器や水を入れたバケツなどを用意している」(21.7%)、「寝室などに履物(くつ・サンダル等)を用意している」(20.9%)の順となっている。

n=474



その他：「避難場所の確認」、「避難の仕方の確認」など

問 33 避難場所の認知度

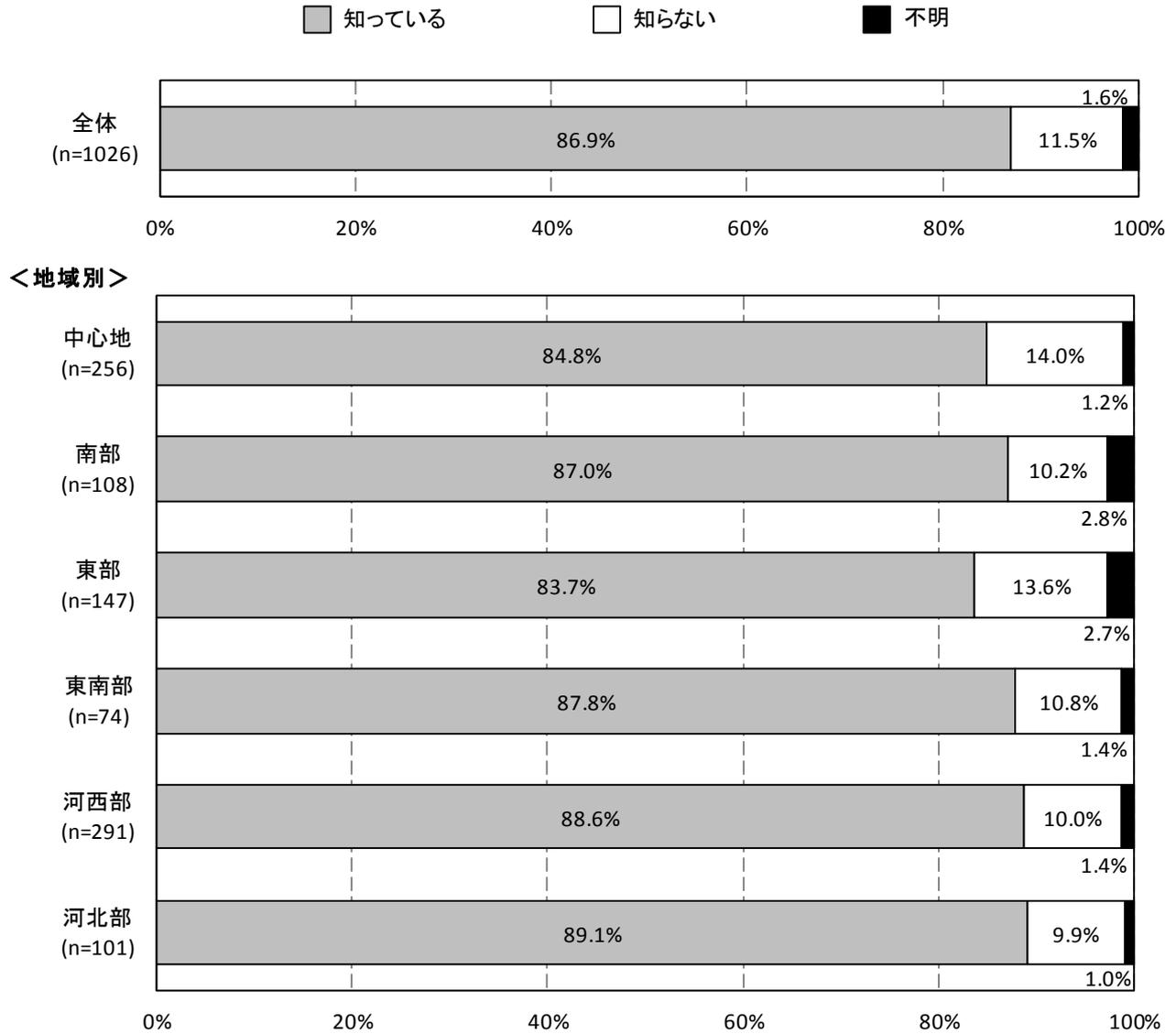
問 33 あなたは、お住まいの地域の避難場所を知っていますか？

1. 知っている 2. 知らない

避難場所について、「知っている」が86.9%、「知らない」が11.5%となっている。

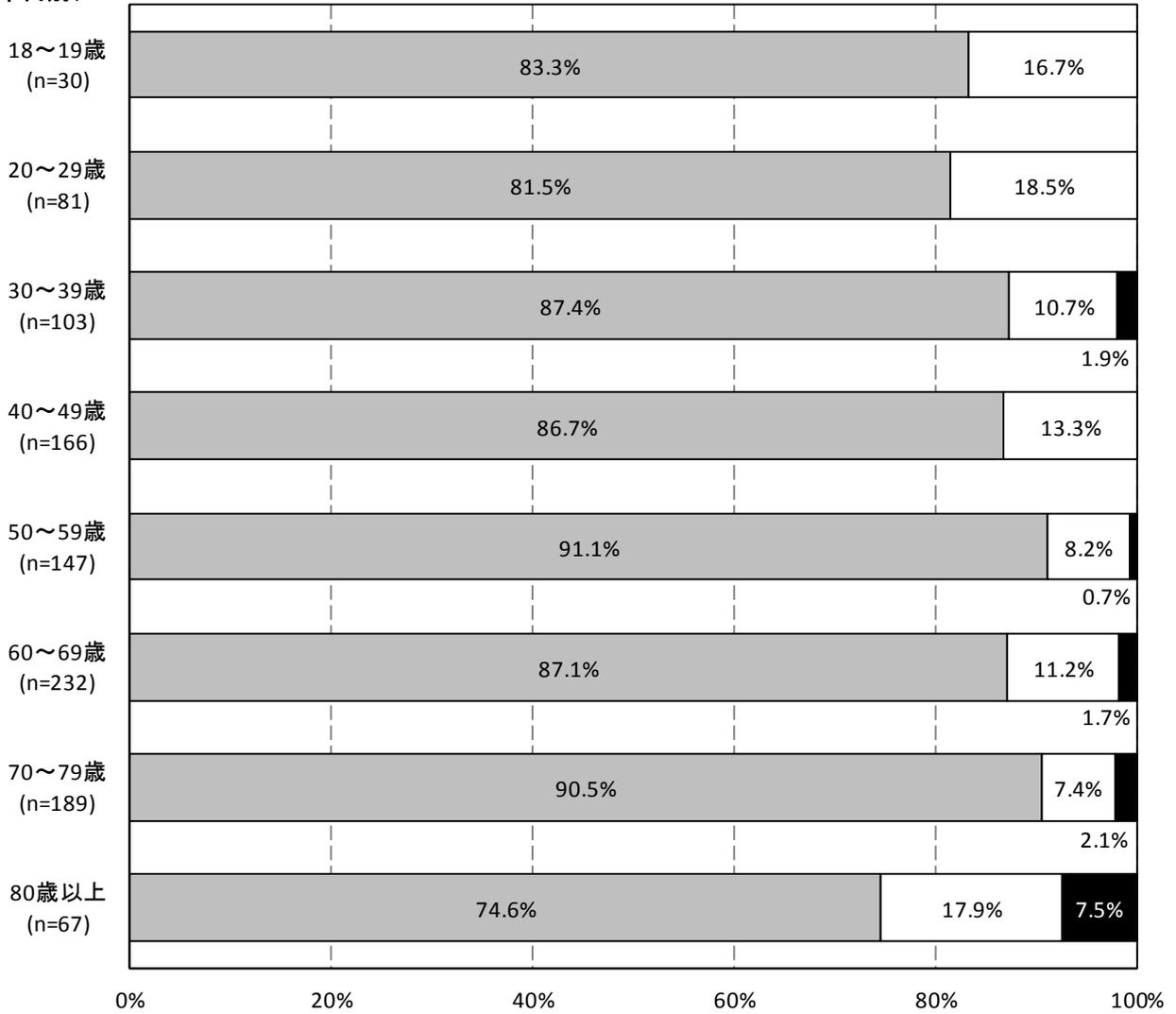
地域別にみると、認知率が最も高いのは河北部で89.1%、最も低いのは東部で83.7%となっている。

年代別にみると、80歳以上で認知率が80%を下回っている。



知っている
 知らない
 不明

<年代別>



問 34 防災への取り組み

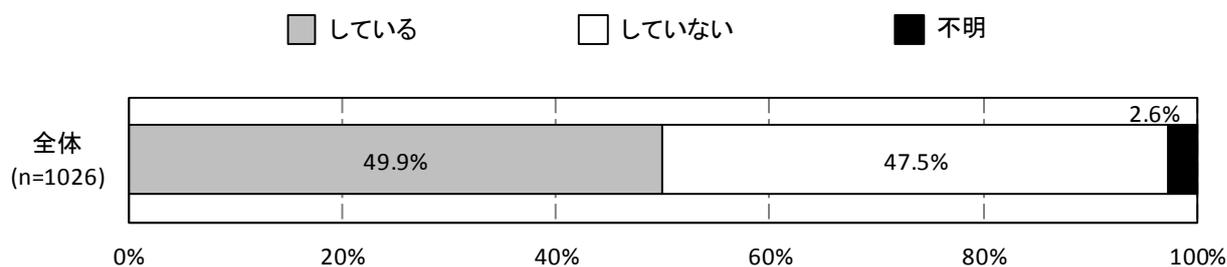
問34 あなたは、災害から身を守るために、どの避難場所に逃げるか、どんな経路を通して逃げるか、日頃から調べたり、話し合ったりしていますか？

1. している 2. していない

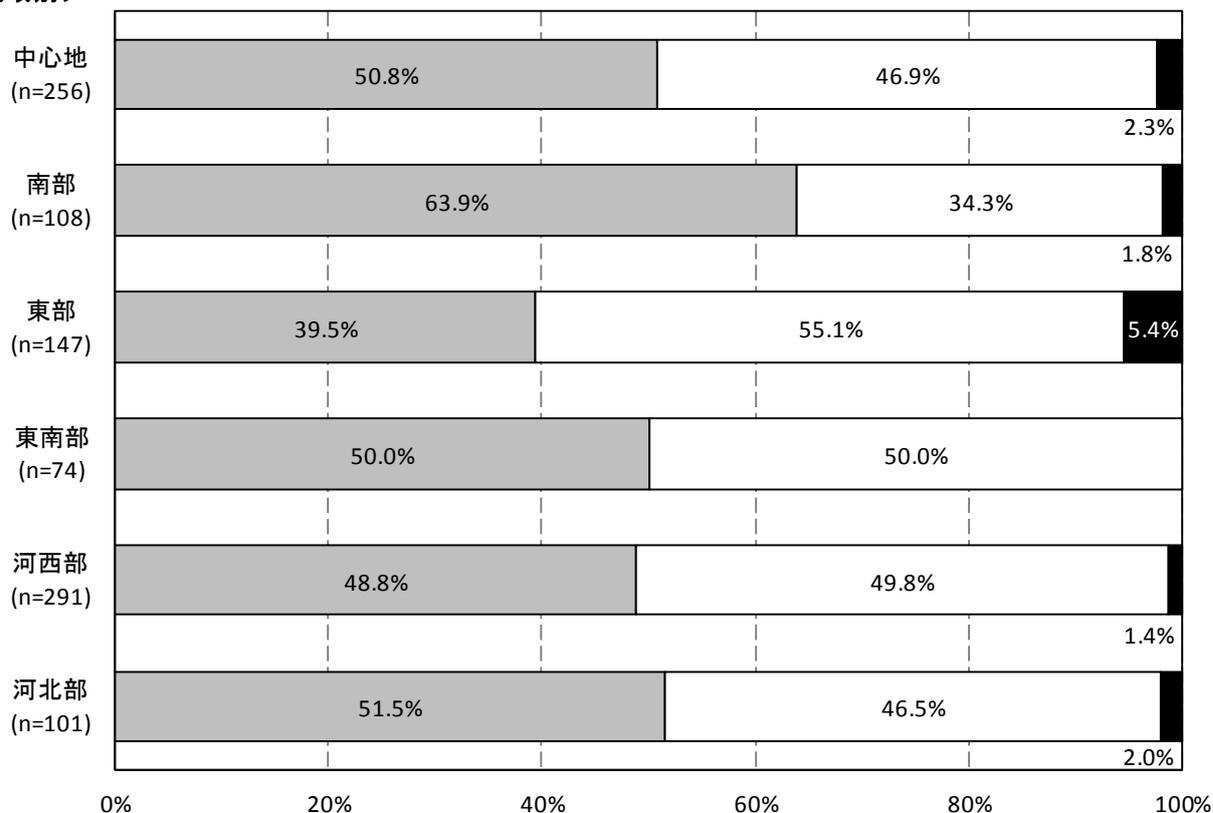
災害から身を守るために日頃から調べたり、話し合ったりしているかについて、「している」が49.9%、「していない」が47.5%となっている。

地域別にみると、「している」が最も高いのは南部で63.9%、最も低いのは東部で39.5%となっている。

年代別にみると、「している」が18～29歳、50～59歳で半数を下回っている。

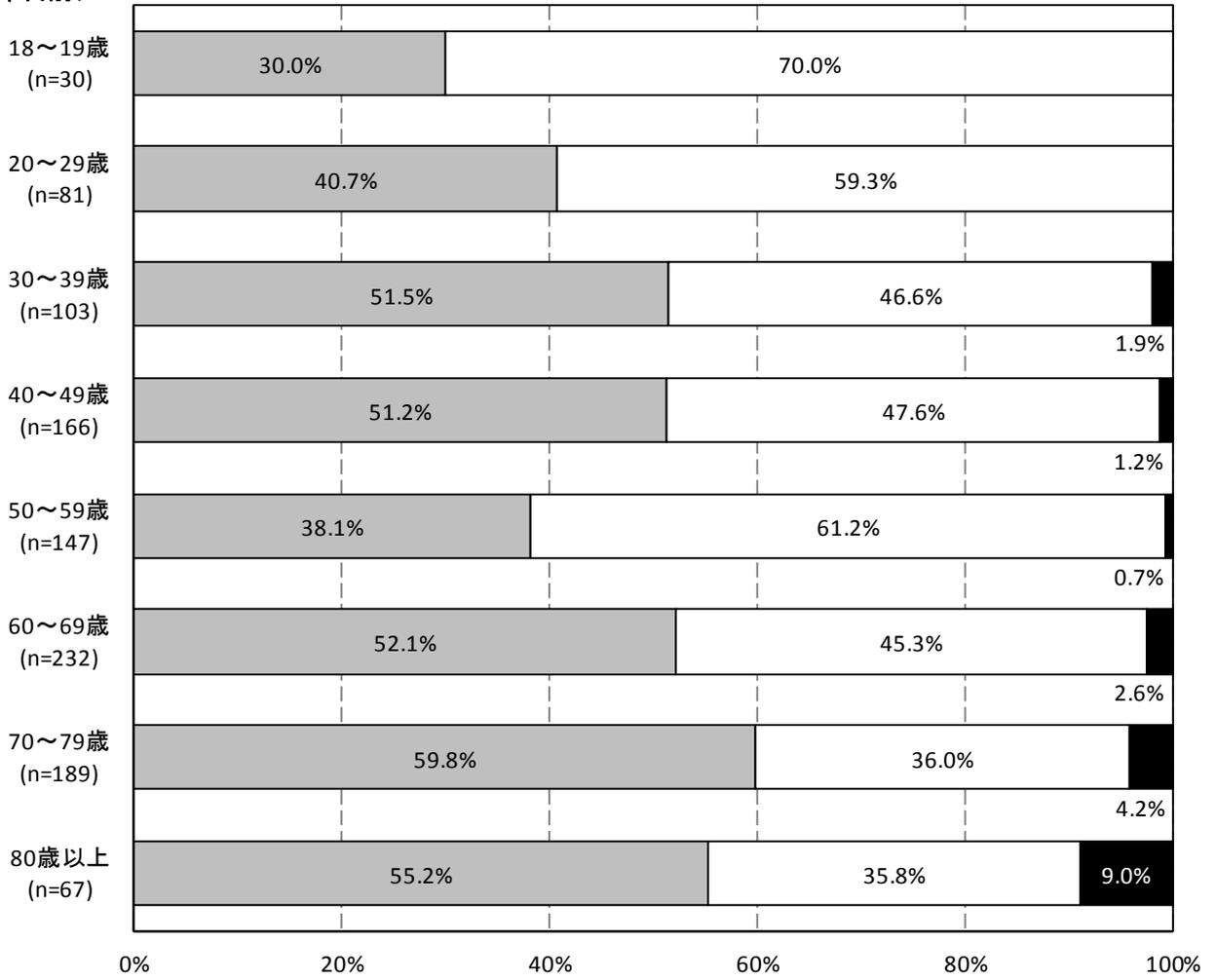


<地域別>



■ している □ していない ■ 不明

<年代別>



問 35 避難訓練への参加

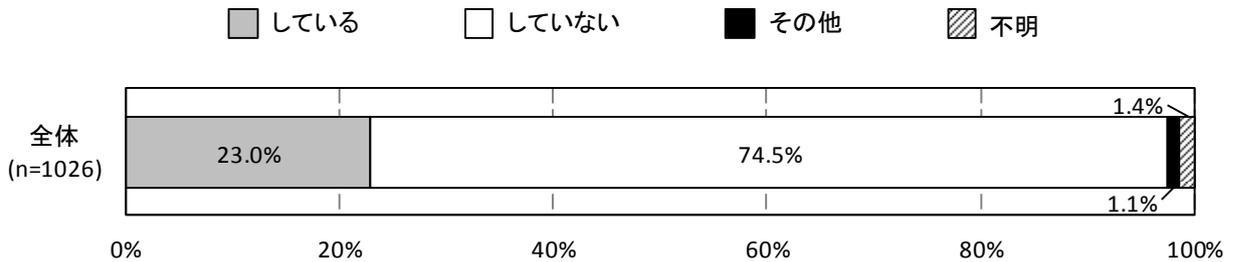
問 35 あなたは、地区で実施している避難訓練に参加していますか。

- 1. している
- 2. していない
- 3. その他 ()

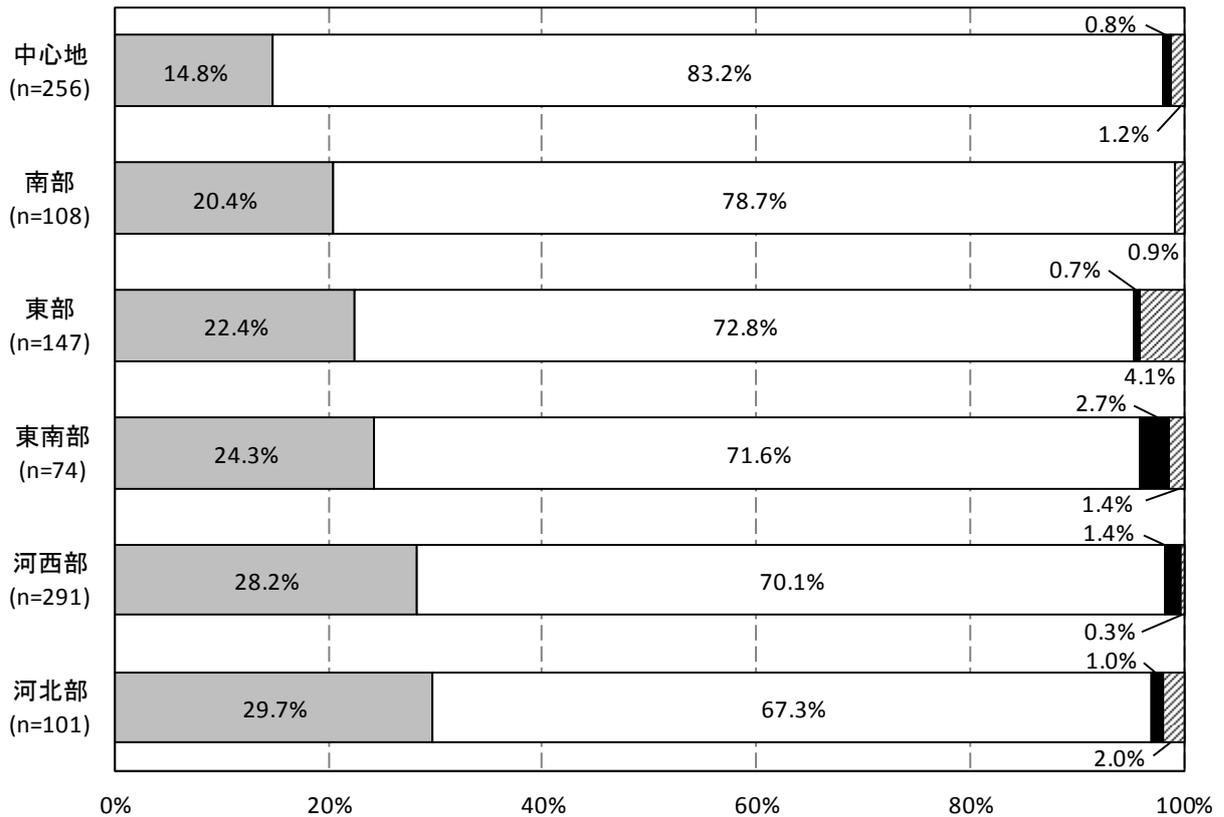
避難訓練の参加について、「している」が23.0%、「していない」が74.5%となっている。

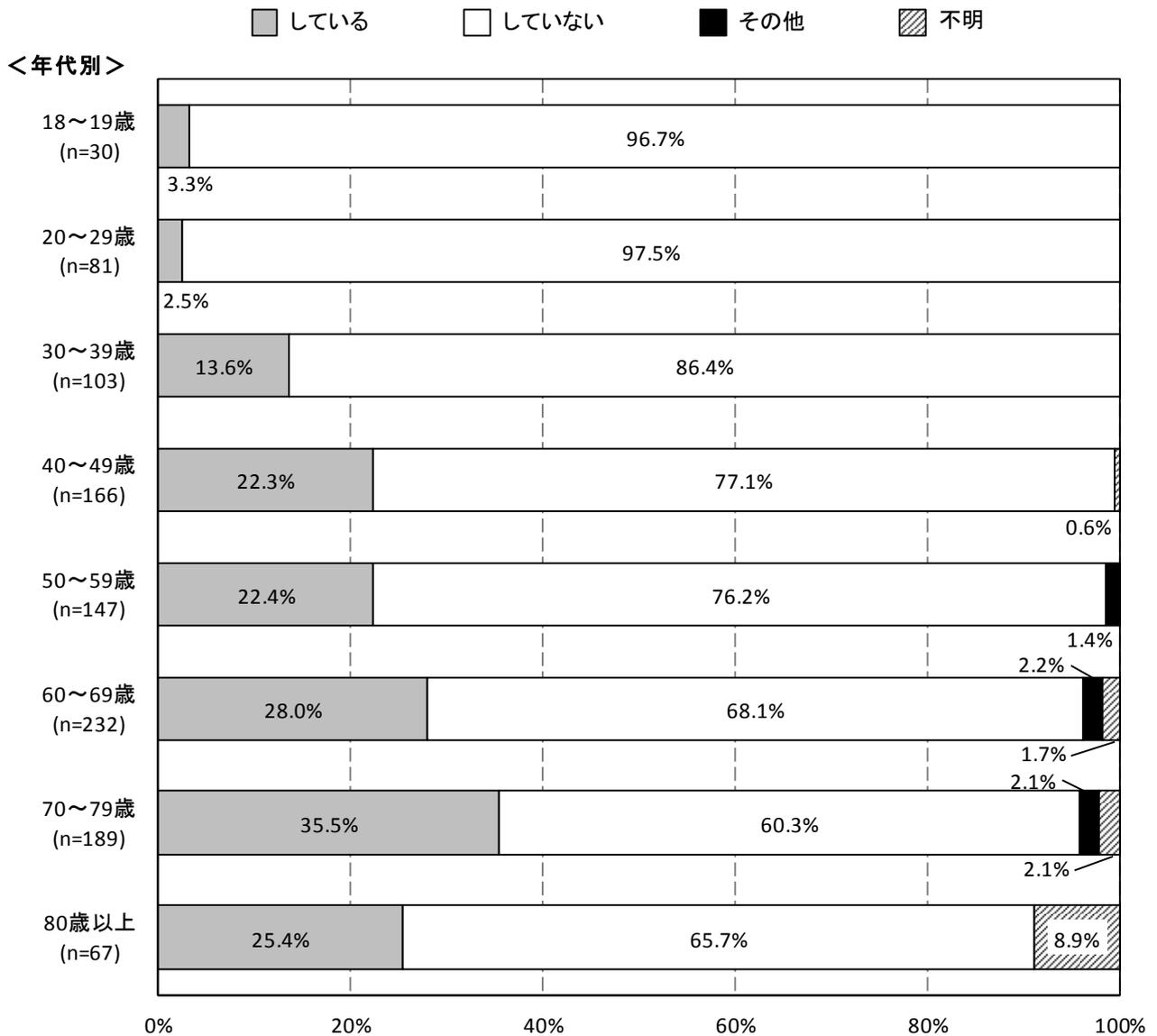
地域別にみると、「している」が最も高いのは河北部で29.7%、最も低いのは中心地で14.8%となっている。

年代別にみると、「している」が最も高いのは70～79歳で35.5%、18～29歳では5%以下と低くなっている。



<地域別>





その他：「以前参加したことがある」、「時々参加している」など

問 35-1 参加しない理由

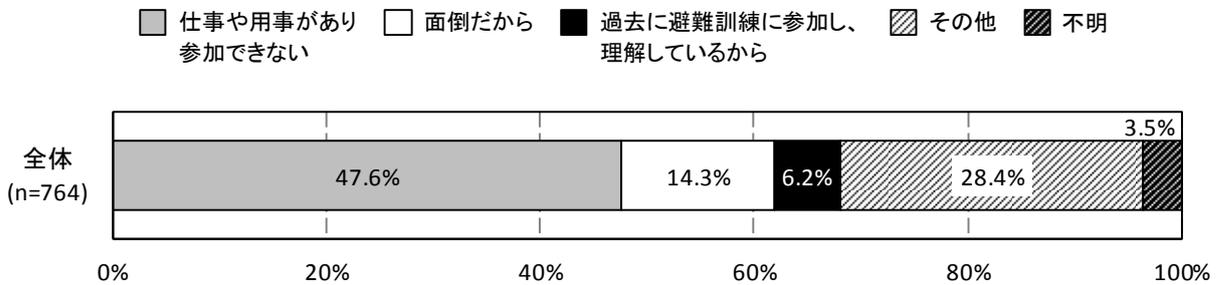
問 35-1 問 35 で「2. していない」と回答された方のみお答えください。避難訓練に参加しない理由は何ですか。あてはまるものを1つお選びください。

- 1. 仕事や用事があり参加できない
- 2. 面倒だから
- 3. 過去に避難訓練に参加し、理解しているから
- 4. その他 ()

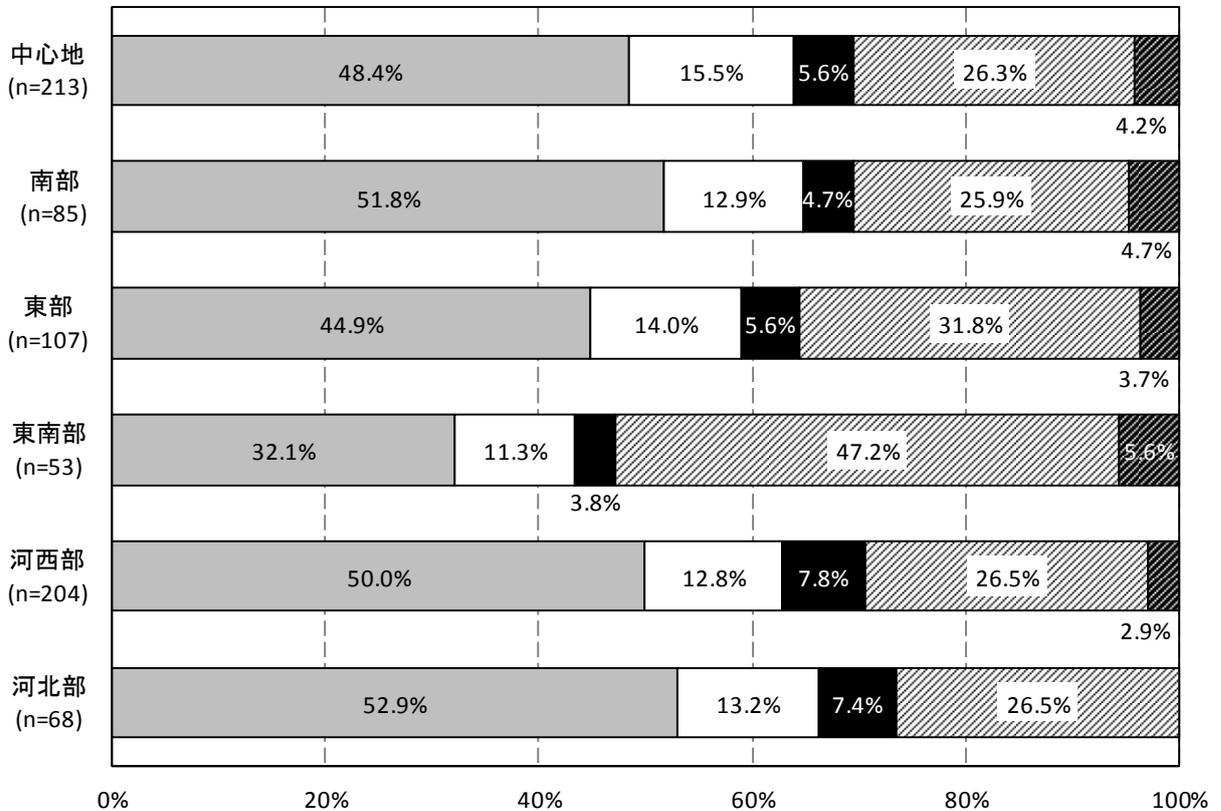
問 35 で「2. していない」と回答した 764 人について、参加しない理由は、「仕事や用事があり参加できない」が 47.6%と最も多く、次いで「その他」(28.4%)、「面倒だから」(14.3%) の順となっている。

地域別にみると、東南部は「その他」が最も多く、他の地域では「仕事や用事があり参加できない」が最も多い。

年代別にみると、18～69 歳は「仕事や用事があり参加できない」、70 歳以上は「その他」が最も多い。

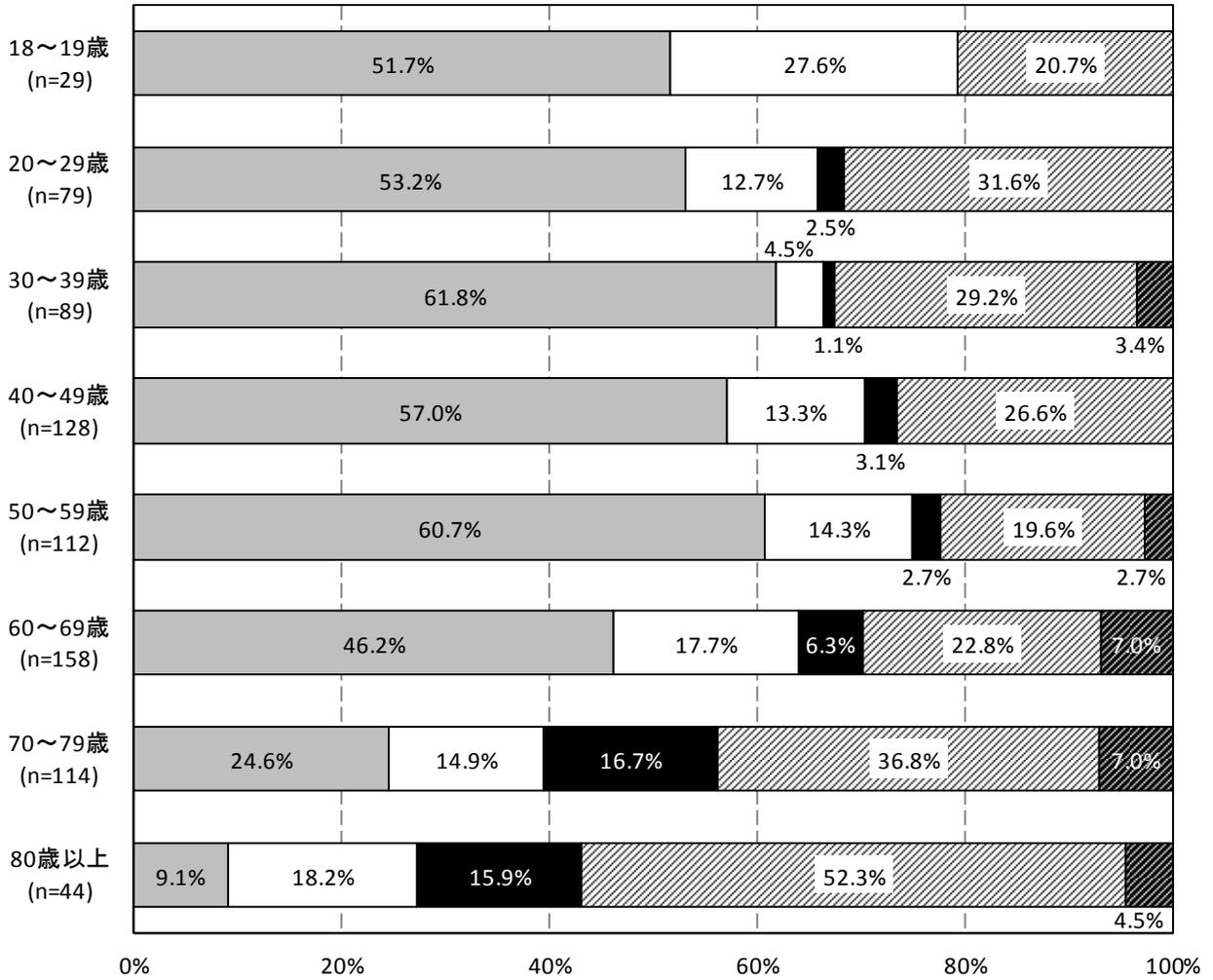


<地域別>



仕事や用事があり参加できない
 面倒だから
 過去に避難訓練に参加し、理解しているから
 その他
 不明

<年代別>



その他：「実施されているのを知らない」、「避難訓練がない」、「体調不良のため」、「避難訓練に疑問を感じる」、「高齢のため」など

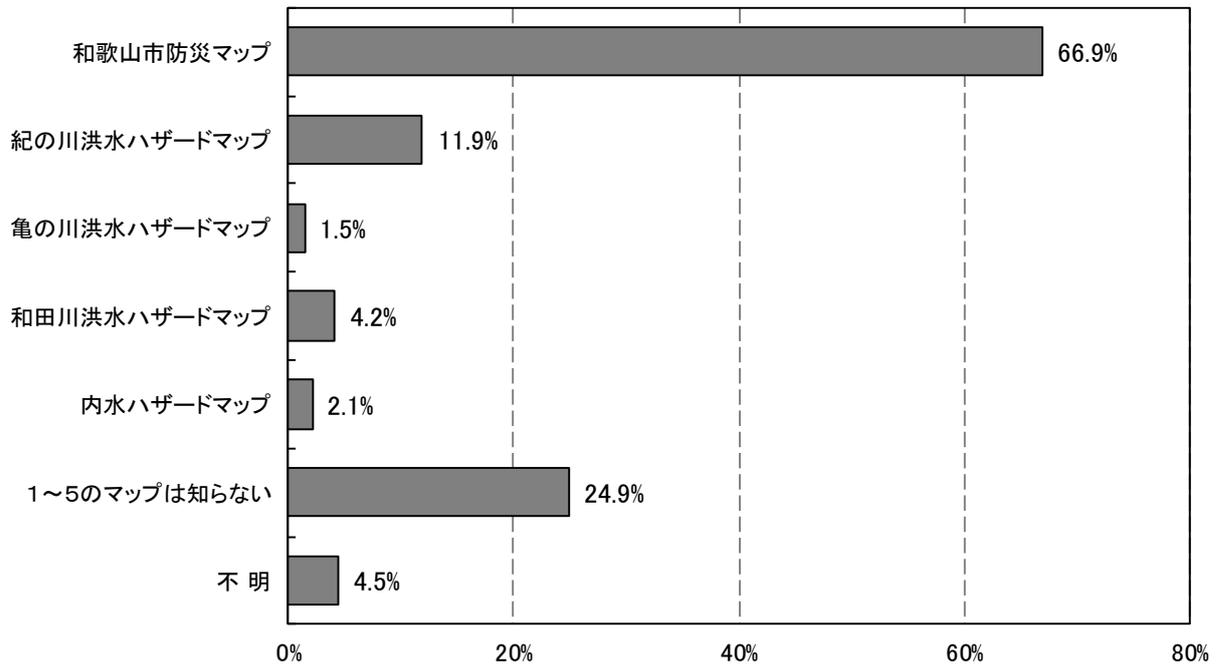
問 36 ハザードマップの認知度

問36 あなたは、和歌山市が作成しているハザードマップを知っていますか？あてはまるものを全てお選びください。

- 1. 和歌山市防災マップ
- 2. 紀の川洪水ハザードマップ
- 3. 亀の川洪水ハザードマップ
- 4. 和田川洪水ハザードマップ
- 5. 内水ハザードマップ
- 6. 1～5のマップは知らない

ハザードマップの認知度は、「和歌山市防災マップ」が 66.9%と最も多い。「1～5 のマップは知らない」は 24.9%となっている。

n=1026



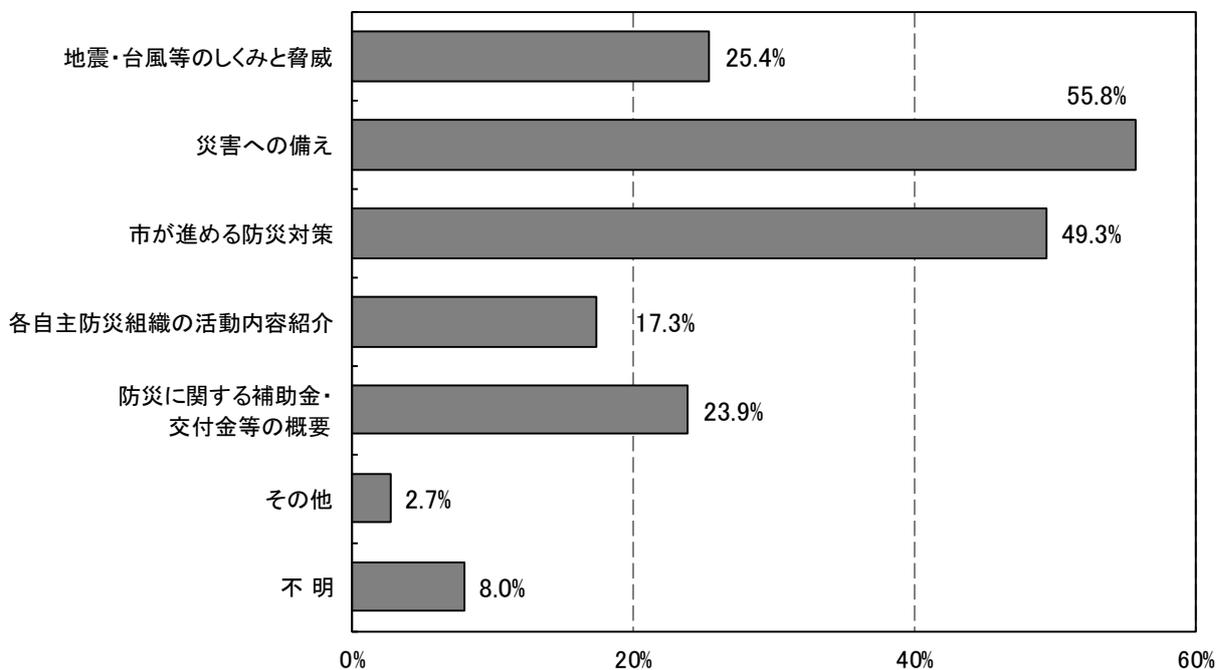
問 37 掲載してほしい防災情報

問37 あなたは、市報わかやまや防災ホームページ等に、どのような防災情報を掲載してほしいですか？あてはまるものを全てお選びください。

- | | |
|------------------|----------------------|
| 1. 地震・台風等のしくみと脅威 | 4. 各自主防災組織の活動内容紹介 |
| 2. 災害への備え | 5. 防災に関する補助金・交付金等の概要 |
| 3. 市が進める防災対策 | 6. その他（ ） |

掲載してほしい防災情報は、「災害への備え」が 55.8%と最も高く、次いで「市が進める防災対策」(49.3%)、「地震・台風等のしくみと脅威」(25.4%)、「防災に関する補助金・交付金等の概要」(23.9%)の順になっている。

n=1026



その他：「災害時のリアルタイムな情報提供」、「避難所の案内」など

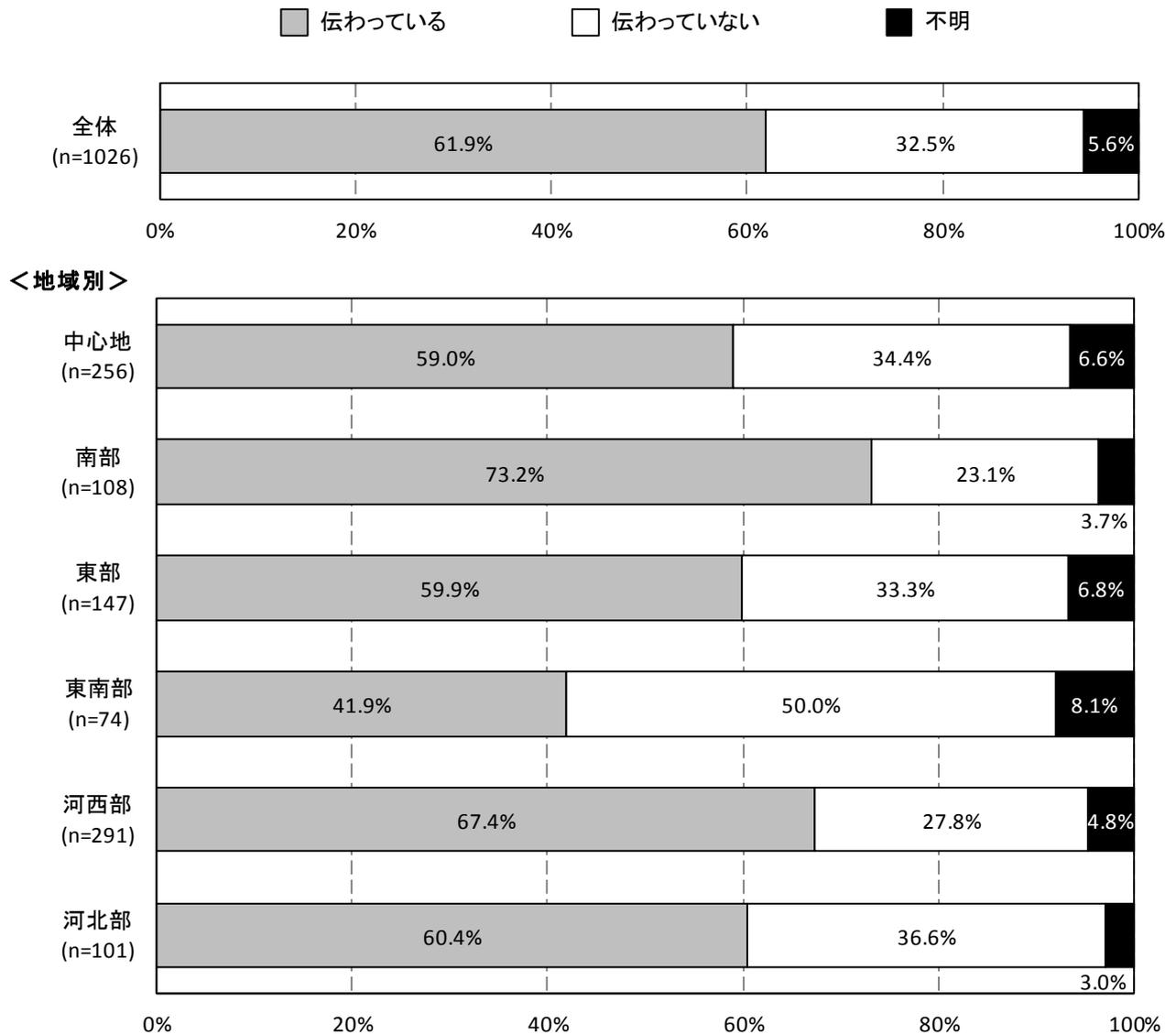
問 38 防災行政無線からの情報伝達

問38 災害発生時や災害が発生するおそれがある時、防災行政無線等によって市から情報を発信していますが、その情報はあなたに伝わっていますか？

1. 伝わっている 2. 伝わっていない【理由： 】

防災行政無線からの情報伝達は、「伝わっている」が 61.9%、「伝わっていない」は 32.5%となっている。

地域別にみると、「伝わっていない」は東南部で 50.0%と高くなっている。



理由：「天候によって聞こえない」、「室内にいると聞こえない」、「音量が小さい」、「音が割れて聞こえにくい」、「設置場所が遠い」、「防災行政無線が設置されていない」など

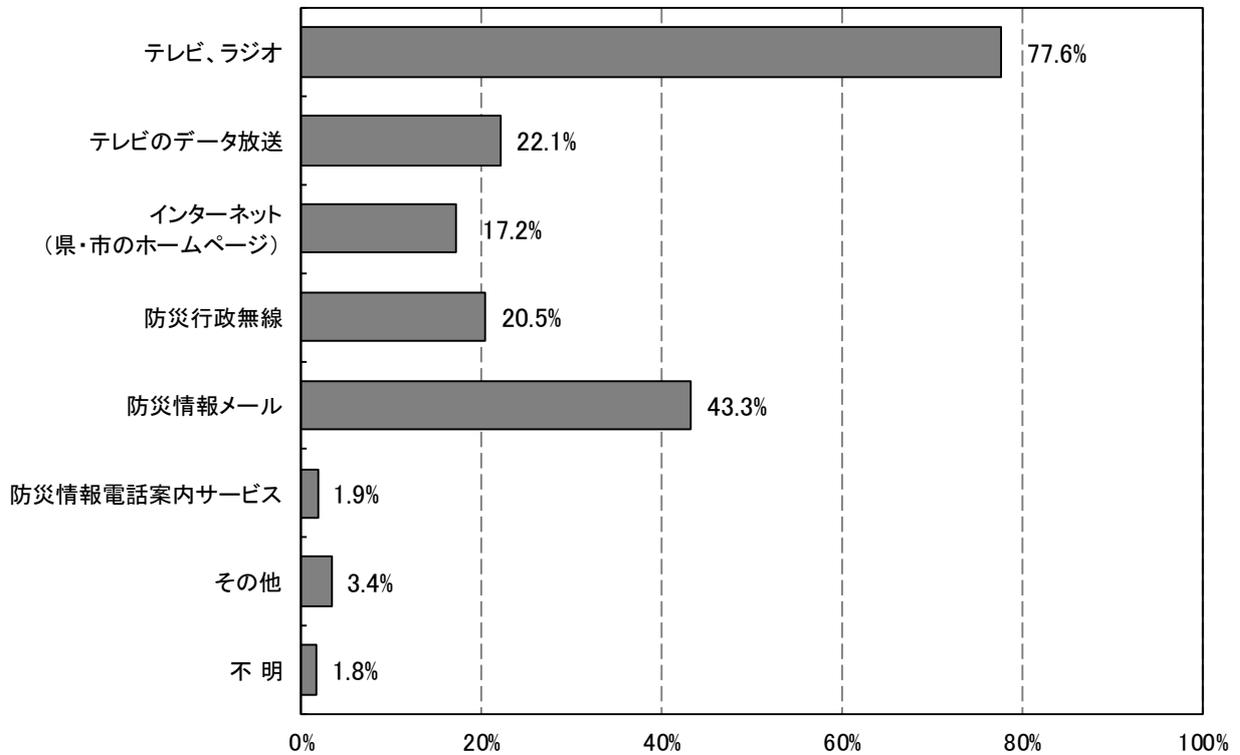
問 39 災害時の情報源

問 39 あなたは、災害発生時や災害が発生するおそれがある時、その情報をどこから得ていますか。
あてはまるもの全てをお選びください。

- | | |
|------------------------|-----------------|
| 1. テレビ、ラジオ | 5. 防災情報メール |
| 2. テレビのデータ放送 | 6. 防災情報電話案内サービス |
| 3. インターネット（県・市のホームページ） | 7. その他（ ） |
| 4. 防災行政無線 | |

災害時の情報源は「テレビ・ラジオ」が77.6%と最も多く、次いで「防災情報メール」(43.3%)、「テレビのデータ放送」(22.1%)、「防災行政無線」(20.5%)の順となっている。

n=1026



その他：「スマートフォン・携帯」、「インターネット（県・市以外のホームページ）」など

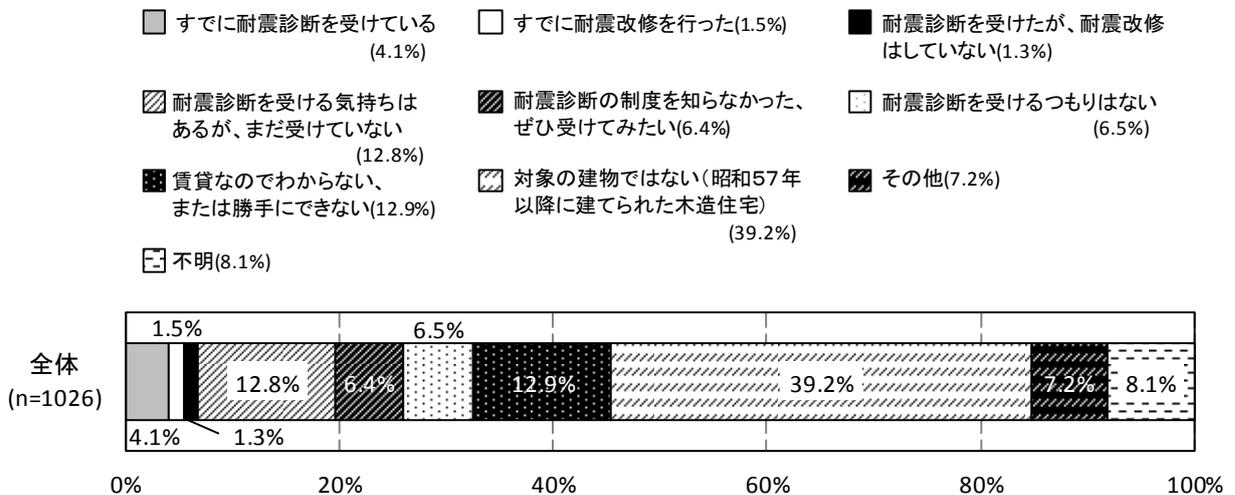
問 40 木造住宅耐震診断の受診状況

問40 和歌山市では昭和56年以前に建てられた木造住宅に、無料で木造住宅耐震診断士を派遣し、耐震診断をする制度があります。お住まいの耐震診断について、あてはまるものを1つお選びください。

1. すでに耐震診断を受けている
2. すでに耐震改修を行った
3. 耐震診断を受けたが、耐震改修はしていない
4. 耐震診断を受ける気持ちはあるが、まだ受けていない
5. 耐震診断の制度を知らなかった、ぜひ受けてみたい
6. 耐震診断を受けるつもりはない
7. 賃貸なのでわからない、または勝手にできない
8. 対象の建物ではない（昭和57年以降に建てられた木造住宅である。）
9. その他（ ）

木造住宅耐震診断の受診状況は、「対象の建物ではない（昭和57年以降に建てられた木造住宅）」（39.2%）の対象外を除くと、「賃貸なのでわからない、または勝手にできない」が12.9%、「耐震診断を受ける気持ちはあるが、まだ受けていない」が12.8%、となっている。

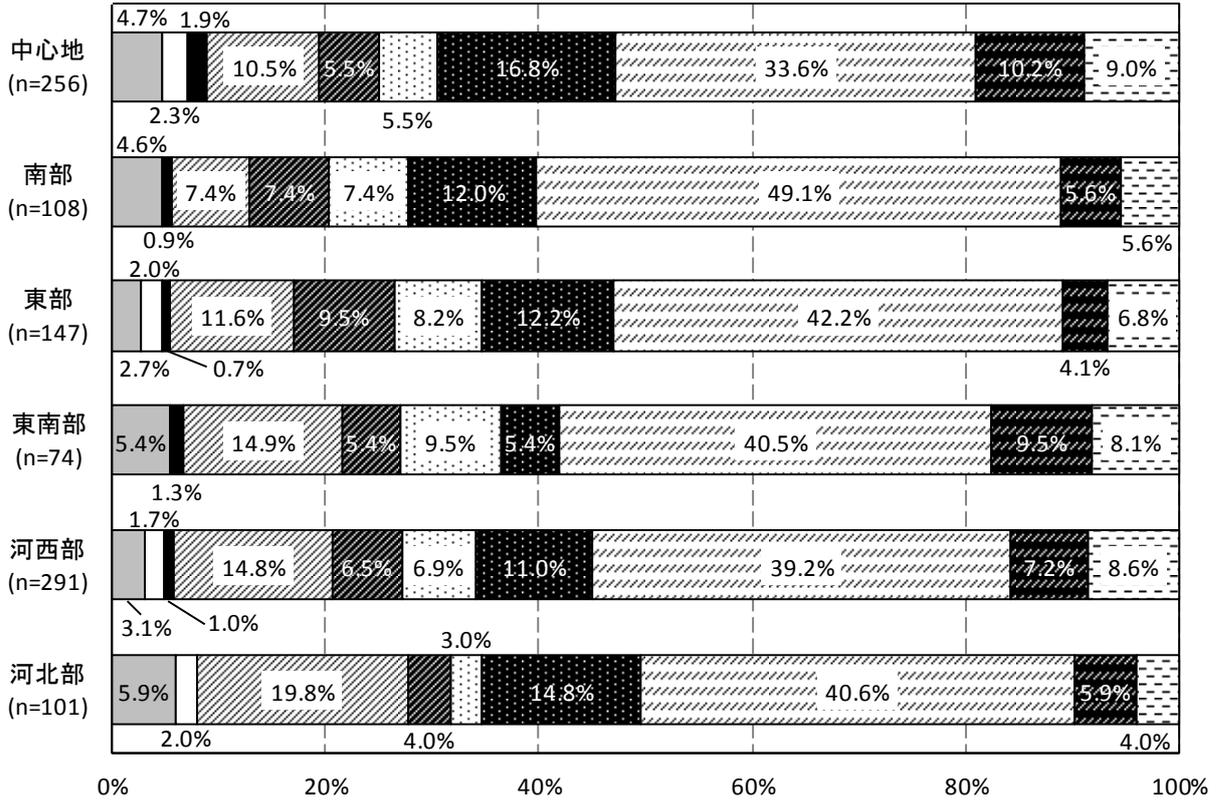
地域別にみると、「耐震診断を受ける気持ちはあるが、まだ受けていない」は河北部で19.8%、「賃貸なのでわからない、または勝手にできない」は中心部で16.8%と、他の地域より高めとなっている。



その他：「マンションだから」、「市営・県営住宅だから」など

- すでに耐震診断を受けている
- すでに耐震改修を行った
- 耐震診断を受けたが、耐震改修はしていない
- ▨ 耐震診断を受ける気持ちはあるが、まだ受けていない
- ▨ 耐震診断の制度を知らなかった、ぜひ受けてみたい
- ▨ 耐震診断を受けるつもりはない
- 賃貸なのでわからない、または勝手にできない
- ▨ 対象の建物ではない(昭和57年以降に建てられた木造住宅)
- その他
- 不明

<地域別>

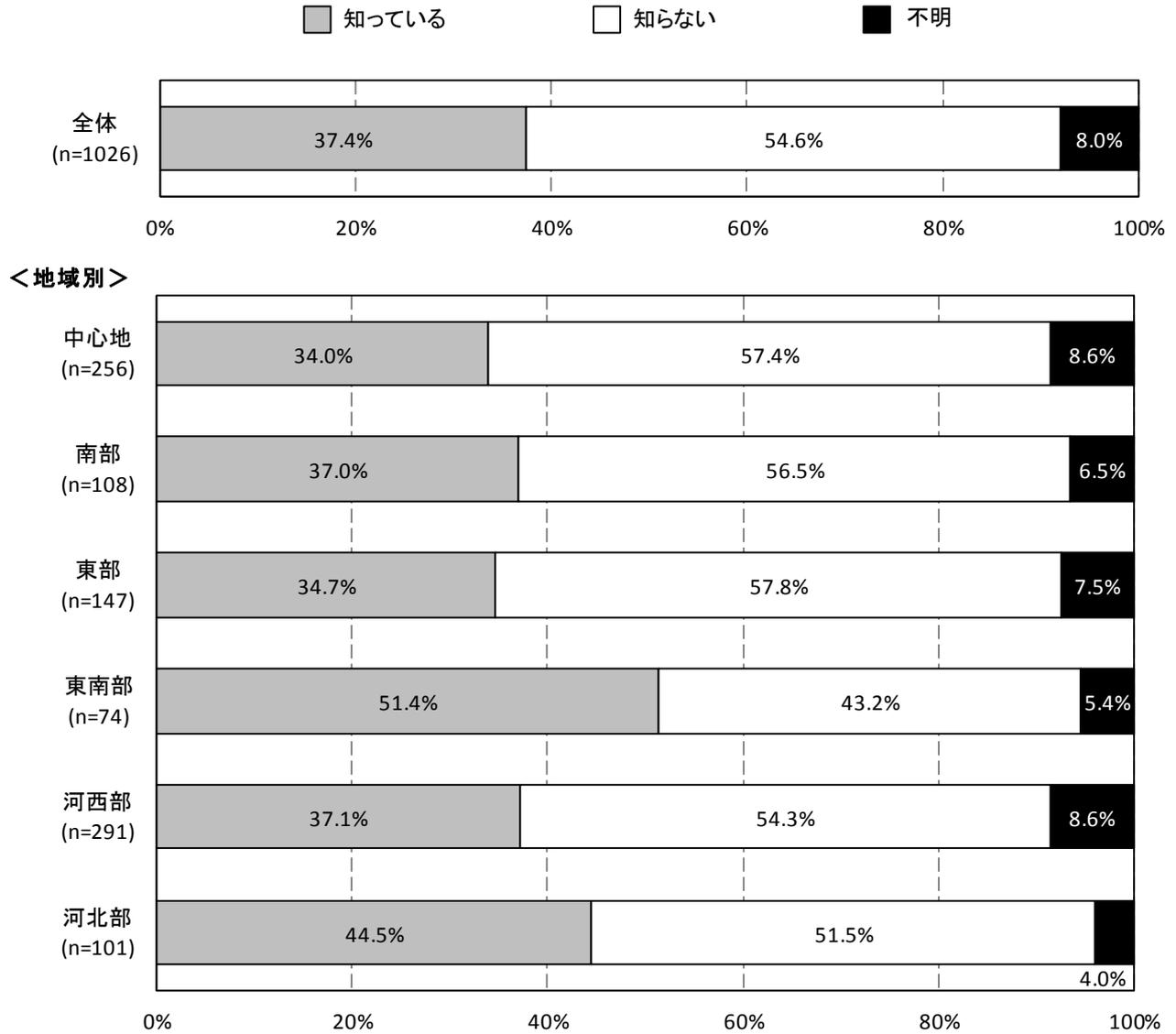


問 41 耐震改修費補助制度の認知度

問41 耐震診断の結果、耐震性が低いと判定された戸建て住宅、長屋及び共同住宅について、基準を満たす耐震改修を行った場合、耐震改修費（設計・工事・リフォーム）の一部を補助する制度があるのを知っていますか？

1. 知っている 2. 知らない

耐震改修費補助制度の認知度は、「知っている」が37.4%、「知らない」が54.6%となっている。地域別にみると、いずれの地域も「知らない」が40%を超えている。



問 42 和歌山市の治安状況

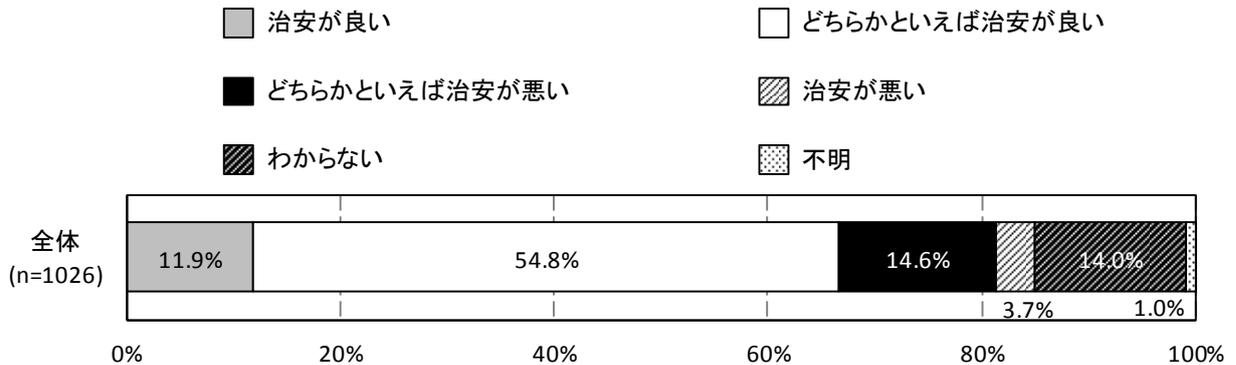
問42 あなたは、和歌山市の治安状況についてどう感じていますか？あてはまるものを1つお選びください。

- 1. 治安が良い
- 2. どちらかといえば治安が良い
- 3. どちらかといえば治安が悪い
- 4. 治安が悪い
- 5. わからない

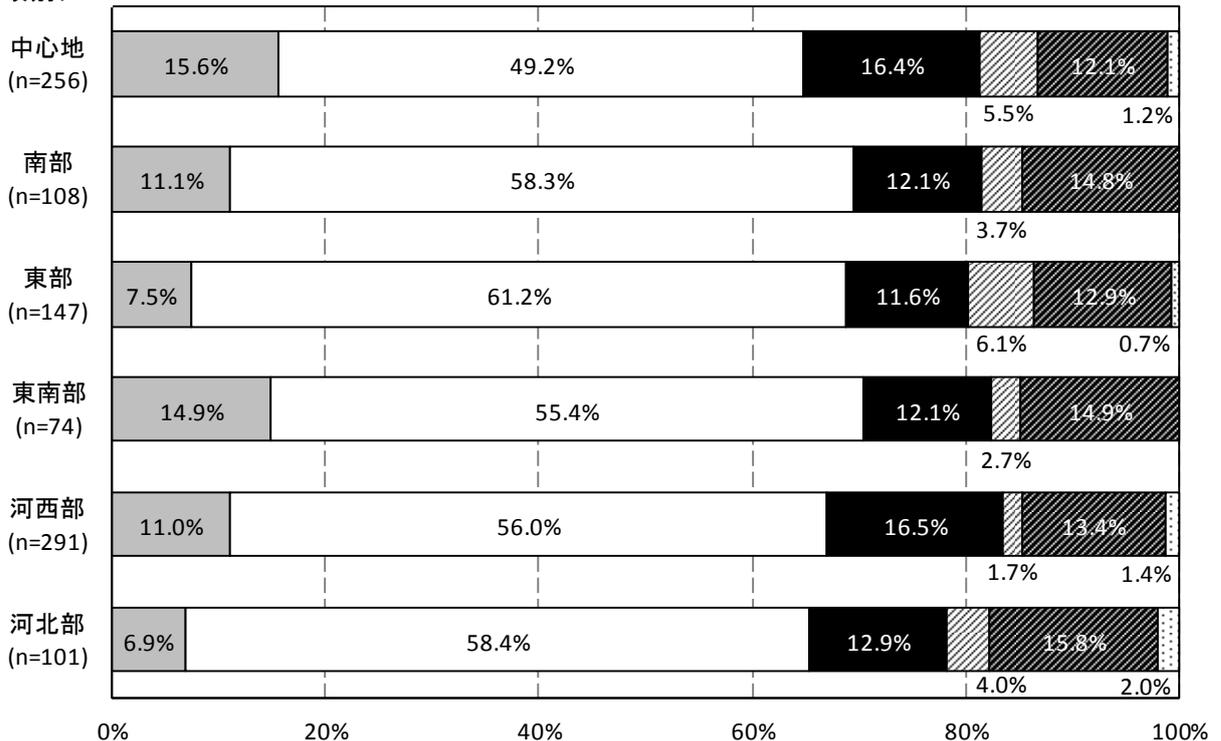
和歌山市の治安状況について、「治安が良い」(11.9%)と「どちらかといえば治安が良い」(54.8%)をあわせた66.7%は治安が良いと感じており、「どちらかといえば治安が悪い」(14.6%)と「治安が悪い」(3.7%)を合わせた18.3%は治安が悪いと感じている。

地域別にみると、治安が良いと感じている比率は東南部(70.3%)で最も高く、治安が悪いと感じている比率は中心部(21.9%)で最も高くなっている。

年代別にみると、治安が良いと感じている比率は80歳以上(71.6%)が最も高く、治安が悪いと感じている比率は18~19歳(53.4%)が最も高くなっている。

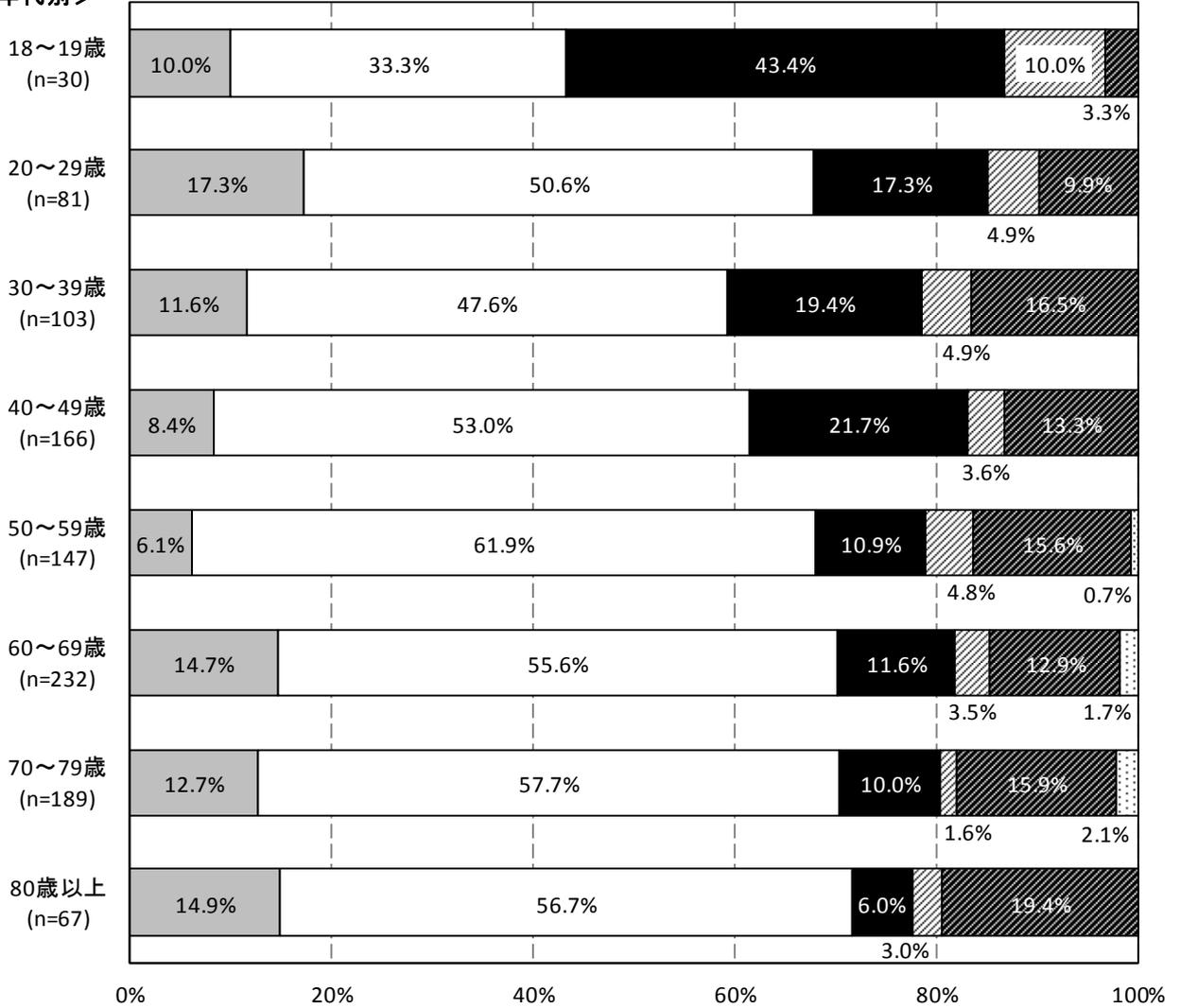


<地域別>





<年代別>



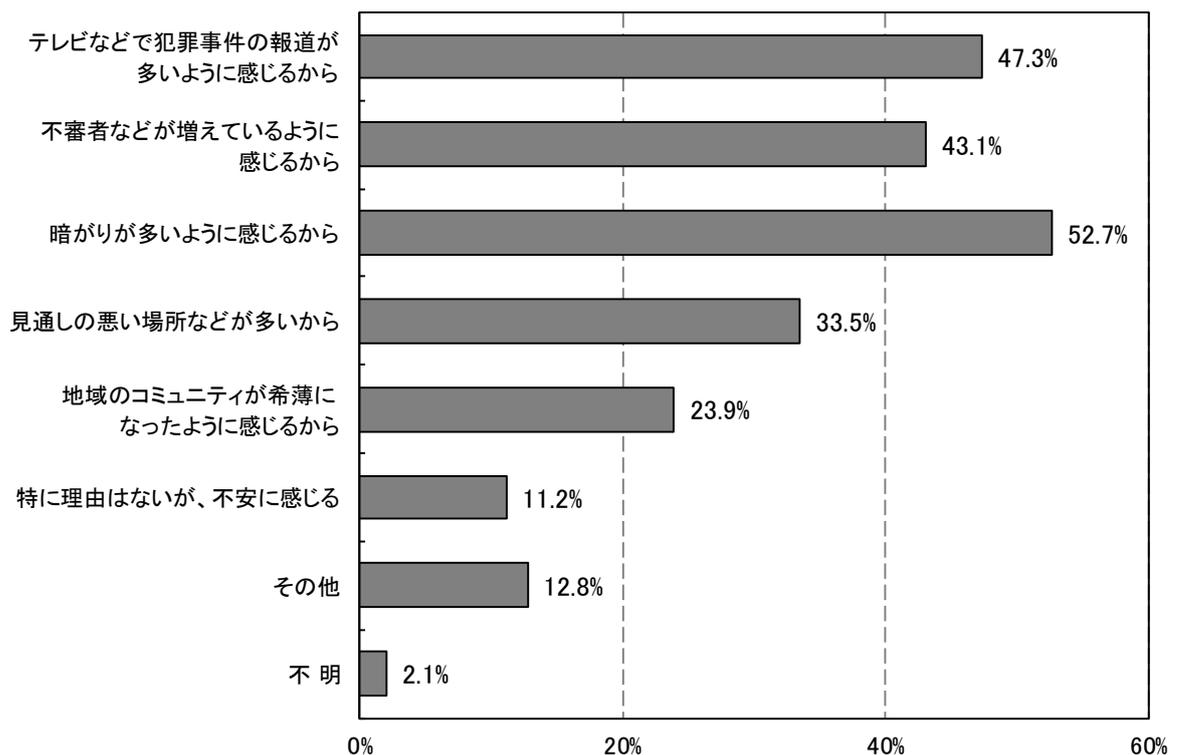
問 42-1 治安が悪いと感じる理由

問42-1 問42で「3. どちらかといえば治安が悪い」「4. 治安が悪い」とお答えの方のみお答えください。あなたが、治安が悪いと感じる理由は何ですか。あてはまるもの全てお選びください。

1. テレビなどで犯罪事件の報道が多いように感じるから
2. 不審者などが増えているように感じるから
3. 暗がりが多いように感じるから
4. 見通しの悪い場所などが多いから
5. 地域のコミュニティが希薄になったように感じるから
6. 特に理由はないが、不安を感じる
7. その他（ ）

問 42 で「3. どちらかといえば治安が悪い」、「4. 治安が悪い」と回答した 188 人について、治安が悪いと感じる理由は、「暗がりが多いように感じるから」が 52.7%と最も多く、次いで「テレビなどで犯罪事件の報道が多いように感じるから」(47.3%)、「不審者などが増えているように感じるから」(43.1%)、「見通しの悪い場所などが多いから」(33.5%) の順となっている。

n=188



その他：「警察への不信任感」、「発砲事件があったから」、「車上あらしにあったため」など

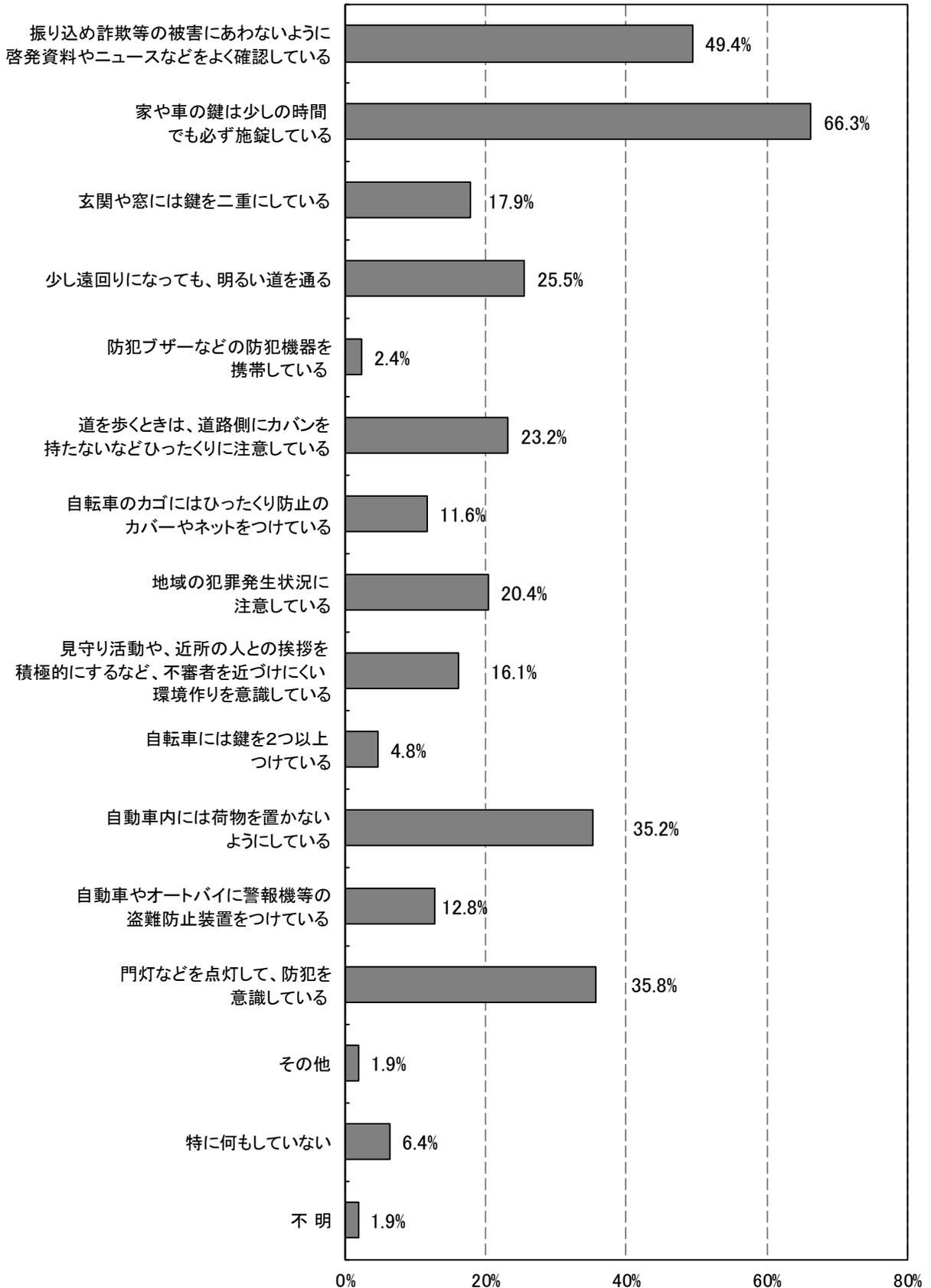
問 43 犯罪被害に遭わないための心がけ

問43 犯罪被害を防止するためには、日常生活において市民一人ひとりが防犯について意識することが大切です。あなたが犯罪の被害にあわないために、日常生活で心がけていることは何ですか。つぎの中からあてはまるものを全て選んでください。

1. 振り込め詐欺等の被害にあわないように啓発資料やニュースなどをよく確認している
2. 家や車の鍵は少しの時間でも必ず施錠している
3. 玄関や窓には鍵を二重にしている
4. 少し遠回りになっても、明るい道を通る
5. 防犯ブザーなどの防犯機器を携帯している
6. 道を歩くときは、道路側にカバンを持たないなどひたたくりに注意している
7. 自転車のカゴにはひたたくり防止のカバーやネットをつけている
8. 地域の犯罪発生状況に注意している
9. 見守り活動や、近所の人との挨拶を積極的にするなど、不審者を近づけにくい環境作りを意識している
10. 自転車には鍵を2つ以上つけている
11. 自動車内には荷物を置かないようにしている
12. 自動車やオートバイに警報機等の盗難防止装置をつけている
13. 門灯などを点灯して、防犯を意識している
14. その他 ()
15. 特に何もしていない

犯罪被害に遭わないための心がけは、「家や車の鍵は少しの時間でも必ず施錠している」が66.3%と最も多く、次いで「振り込め詐欺等の被害にあわないように啓発資料やニュースなどをよく確認している」(49.4%)、「門灯などを点灯して、防犯を意識している」(35.8%)「自動車内には荷物を置かないようにしている」(35.2%)の順となっている。

n=1026



その他：「自宅のセキュリティーの強化」、「防犯カメラの設置」、「防犯メールの登録」など